

## Title: 「アジアの空に水母が揺れる」



アジアの空に水母が揺れる &gt; September 2006 アーカイブ

06.09.29

## 一段落

[Tweet](#)[Check](#)

特に一段落したつもりはないが、実家に帰ったら強制的に何もすることができないので(とはいいながらブログをしていますが。)何かしら一段落した気分になる。

日本に帰ってからのというもの

何かと忙しくて、でもなんとか部屋も綺麗になりつつあって、手続きもいろいろしないといけなかったり、

足が痛くて病院に行ったら「ひどい扁平足だね！」と褒められたり。

そういえば、荷物はカビだらけだった。アレルギーもちの私にはとても過酷な掃除であった。ダメになったもの、必要なさそうなものは処分することにしたらコンビニで買った45リッター20枚入りのゴミ袋は残すところあと1枚。1週間で19枚使った。

そんなこんなで微妙に忙しい。次から次にやらないといけなことが湧いて出てくる。こういう時に何もしないと後で大変なことになるの目に見えている。やらないと。。

[続きを読む "一段落" >](#)

カテゴリ:

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.09.29 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#)

アジアの空に水母が揺れる &gt; September 2006 アーカイブ

06.09.13

## Lovers

[Tweet](#)[Check](#)

釜山で考える事。

日本を出てもう半年になる。このとてもヘビー(物理的に)な旅に彼らはこの半年とても頑張ってくれたと思う。日常的な砂埃、強い日差し、猛暑、湿気、豪雨、そして空港の係員に投げられること38回(フライと回数19回のためおそらくその2倍)。彼らにとってはとても苦痛だったのではないだろうか。というか苦痛だったはずだ。

罫紙でネジの部分(◎みたいな所)の貼りものが剥がれてしまった。確かインドでの出来事だったと思う。ネパールで両面テープを買って補正。さらには2度程、このカメラの部品の一部のネジを汚川に落としたりした事がある。流れが少ない事は不幸中の幸いであったが、そこに手を入れる事に10分程躊躇した、結局手を入れるしかなかった。



羽立 孝

1981年鹿児島生まれ。2005年から水問題を撮り始め、この海外FWでも水の環境問題を続けて撮り進めて行く。

## ● 最近のエントリー

- ☑ 一段落 (2006.09.29)
- ☑ Lovers (2006.09.13)
- ☑ アンチツアー (2006.09.11)
- ☑ 船。海で (2006.09.10)

## ● アーカイブ

- ☑ February 2007
- ☑ January 2007
- ☑ December 2006
- ☑ November 2006
- ☑ October 2006
- ☑ September 2006
- ☑ August 2006
- ☑ July 2006
- ☑ June 2006
- ☑ May 2006
- ☑ April 2006
- ☑ March 2006

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

- ☑ Bangkok
- ☑ Hanoi
- ☑ Ho-Chi-Minh
- ☑ INDIA
- ☑ Malaysia
- ☑ SiemReap
- ☑ Taiwan
- ☑ 石垣島

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0



カットホルダーの下面のテープが染いたら少し破れていた為にパーマセルで応急処置。破れていたのは8枚のカットホルダーのうちの1枚。インドで気付いた。焦った。スクーリングで現像して安心した。



去年の8×10での撮影の為に買ったピントルーベ。この子はカンボジアの川の撮影中に宙を浮いた。その下には川があり川岸は垂直に切り立ち、このまま落としたり取りに行くのは不可能な状況。しかし間一髪、ルーベにつけてあったストラップを掴み難を逃れた。



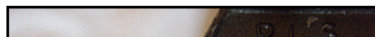
ダークバッグに穴があいているのに気付きパーマセルで補強。補強したのは確かインドが最初。合計7箇所。フィルムを交換する際はなるべく部屋を暗くせねばなりません。これもスクーリングで現像し、結果一安心。

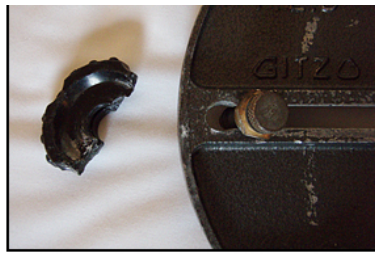


汚い川の撮影中にリリースも2回程川に落としました。もうちょっと汚くない川で洗いました。ちょっと綺麗になりました。



ベトナムで三脚のネジが壊れてしまった、確かフライトの後だったので預け入れ荷物にしないとイケなかった時の代償である。ボンドを買ってきて修理しようとしたがまたすぐに壊れた。その後は仕方なく予備のネジを使い撮影。ネジを持って来ておいて良かったと思った。帰ったら修理に出さないと。今はバックパックの中に入ってます。

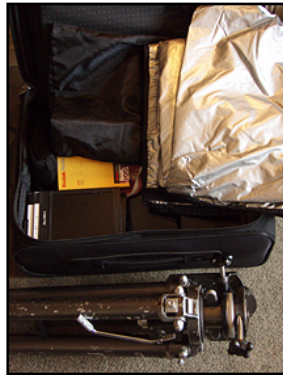




1番撮影で使ったレンズ。特に落としたりもしてないけれど、お気に入りだから載っけます。



そんな機材達を入れているスーツケース2号。1号はタイに来た時に壊れてしまいました。享年1ヶ月。まあ普通のスーツケースは20キロの荷物なんて入れませんよね。2号は今でも頑張っています。でもつい先日壊れました。ひとまず修理済み。もうしばらくは使えると思う。色んな所が破けてっけどね。。



台湾で腰を痛めてスーツケースを買う前はこのバックパックを買うまでは三脚以外のすべてがこの中に入っていました。30キロはオーバーしてたかと思います。今ではこのバックパックに7キロの三脚を入れています。それで18キロ。三脚抜いたら11キロ？軽くなったもんだなあ。



バックパックを埃や雨風から守ってくれたレインカバー。縫ぎ接ぎや破れは防ぎようがありません。でも着けると着けないのではバックパックの状態がかなり違います。助かりました。





機材とはあまり関係ありませんが、この旅でブログの作成やデータ管理、6GBの音楽、君のおかげで何時間分の暇が解消されたことでしょう。お礼にマレーシアで1GBのメモリを増設してあげました。



物持ちはいいのですが（8年間使っていたパーカーとか）決して大事にしているわけではない自分。使い切っているだけのような気がします。そんな自分に半年間よく頑張ってきてくれたなあと思う。中にはぼろぼろのものも。

そんな彼らにありがとう。

カテゴリ：  
post by 羽立 孝 | 日時: 2006.09.13 | [パーマリンク](#) | [コメント \(84\)](#)

[アジアの空に水母が揺れる](#) > [September 2006 アーカイブ](#)

06.09.11

## アンチツアー

[Tweet](#)

[Check](#)

ホーチミンからシンカフェツアーでミトーに出かけた、川の撮影をする為だ。そのツアーバスの中でちょうどガイドさんと隣の席になり私の荷物が大きいことについて訪ねられた。

そんな荷物じゃツアーは着いてこれないよ。荷物はバスの中に置いていくんだ

それじゃ写真撮れないじゃん

ツアー中は小型ボートで移動するからとてもビジーだよ、だから無理だった。

じゃあ俺はバスの近くで撮影するよ、予定時刻までに戻ってくれば問題ないだろう。

本当にいいのかい？(×5回)

だからいいって！

そんな感じでメコンデルタツアー先のベンチャーには行かず一人でもミトーで撮影。ホーチミンでは前回(4月の撮影)完敗だったからホーチミン以外のどこかならどこでも良かった。









んっ!?



白鳥というものはもっと。。

こう。。

立体感に溢れるものだと思っていた。  
日本に帰ったら上野動物園に行ってみよう。  
真実というものは時にひどく残酷であるものだ。

カテゴリ:

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.09.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

[アジアの空に水母が舞れる](#) > September 2006 アーカイブ

06.09.10

朝、海で

[Tweet](#)

[Check](#)











海の匂いがした、正確に言うと「海を連想した」、であろうか。

つまりは海の磯の香りや海産物の生臭い匂いを感じたのだ、そこには「海」という共通性が存在し、これだけでも私が故郷の百道浜を思い出すのに十分なことだったのかもしれない。百道はただの埋め立て地であり、私がそこに赴く必要性があったかという、今振り返ってもそうは思えない。でも私には何故かその記憶がとても鮮明なのだ。室見川から見た夕日も、百道を横切る都市高速から見た夜景もここだけのものであり、福岡ドームにはよく足を運んだし、あんな滑稽な観覧車はあそこで見かけた事がない。でも今この場所にそれらの風景があるわ

けでもなく、ここはベトナムのムイネーであり独自の海外線を持ちそこに住む人々が漁を営んでいる。

匂いが記憶を錯綜させる。

私には「思い出が詰まった自分の部屋、家」みたいなものは存在しない。一所に定住した事がないそれは依存するのだから。そのためか執着心や物欲、収集癖みたいなものもそのせいなのか生まれてはこなかった。これは私にとっては幸福な事だと思う。これらの事により私には「郷愁の念」というものは少ない方だと思っている。だからたまにこういうことがあるとれていないから困ってみたいする。でもそれはそれだから自分の記憶をつまみにこの海岸線を楽しんでみたいする。

私が何かを見る時に比較対象としてそこを選ぶならきっとそこが私にとっての正しい街なのだろう。



カテゴリ：

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.09.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

[アジアの空に水母が漂れる](#) > September 2006 アーカイブ

## ベトナムのこと

[Tweet](#)

[Check](#)

ベトナムには砂丘がある。ついこの間まで知らなかったのでびっくりした様に思う。日本に来た外国人が日本に砂丘があるという見に行く様なものだろうと解釈し、鳥取砂丘を長年見たいと思っていたながら行く事が出来なかったのにまさかベトナムの方先に来てしまうとは夢にも思わなかった。

そんな砂丘。







カテゴリ：

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.09.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)

[アジアの空に水母が揺れる](#) > September 2006 アーカイブ

06.09.01

9月になりました。

[Tweet](#)

[Check](#)

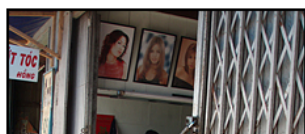
気を抜くと曜日だけでなく月日の感覚もなくなります。  
携帯のカレンダーがこれほどまでに役立つとは思わなかった。







今日は晴れているにもかかわらず雨が降るだろうと思い機材も持たずに街を散策。体も疲れていたので次の撮影地への為の骨休めにもなれば良い





シンカフェオフィスに行きバスのチケットをリコンファームをしに行く。出発が1時間遅くなっていた。しかもチケットはあるのに自分の席がなかった。これにはびっくり。席を確保してもらいその座席表を見ると全部で5人くらいしかいなかった。オフシーズンなのであろう。



一つ動かしてみた。



4日連続の雨。あれ、5日だけ？

まあいいや。

カテゴリ：  
post by 羽立 孝 | 日時: 2006.09.01 | [パーマリンク](#) | [コメント \(8\)](#)